

バイク王 バイクライフ研究所 『リセール・プライス』ランキングを発表 『カワサキ・Z900RS』が3連覇！

対象期間 2018年9月～11月

バイクライフの楽しさやバイク市場の動向を広く社会に発信することを目的に活動を行う『バイク王 バイクライフ研究所』（所在地：東京都港区、所長：澤篤史）は、2018年9月～11月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』＝『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。27回目となる今回は「カワサキ・Z900RS」が3連覇を達成しました。

◇『カワサキ・Z900RS』が
3回連続で首位獲得！

◇ホンダ・モンキー125 および
同ABSが早くもランクイン

◇原付二種のランクイン数が過去最多に



◇佐川健太郎氏 インプレッションムービー公開中

『リセール・プライス』ランキングにて、上位10車種にランクインしたモデルを始め、複数の人気車種をモーターサイクルジャーナリストの佐川健太郎氏にインプレッションしていただきました。詳しくはURL (<https://www.8190.jp/bikelifelab/extra/shijou/>) をご覧ください。

※本リリースの調査結果を転載される際は、必ず「バイク王 バイクライフ研究所調べ」とご明記ください。

※本調査結果は、下記のサイトでも公開されております。

・バイク王 バイクライフ研究所ホームページ(<https://www.8190.co.jp/lab/>)

※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください。

プレスリリースに関するお問い合わせ先

■株式会社バイク王&カンパニー

バイク王 バイクライフ研究所

担当：今井、萩原

TEL 03-6803-8866

E-mail bikelife_lab@8190.co.jp

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 13F

■株式会社スクランブル

プランニング局

担当：大橋

TEL 03-6894-6895 / FAX 03-5413-3050

E-mail bike-o@scramble.jp

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

■ 総合ランキング

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Z900RS	90.3Pt
2	カワサキ・Z900RS CAFE	87.3Pt
3	ホンダ・モンキー125	85.8Pt
4	ホンダ・モンキー125 ABS	84.9Pt
5	ホンダ・スーパーカブ C125	83.9Pt
6	カワサキ・Ninja H2 SX	83.6Pt
7	ホンダ・PCX	83.3Pt
8	カワサキ・Ninja 250	80.6Pt
9	ホンダ・Gold Wing Tour	78.7Pt
10	ホンダ・PCX150	77.8Pt

◇対象期間 2018年9月～11月

27回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『カワサキ・Z900RS』が2位に3.0pt差を付け首位に輝きました。

前回・前々回に引き続きカワサキ・Z900RSが3回連続で1位を獲得しました。名車Z1からインスピレーションを受けた当モデルは、2017年12月に発売されて以降、仕様・カラーリングなどの変更がなされておらず、普遍的な魅力を持つスタンダードモデルとしてのポジションを確立しつつあります。このような理由から、多くのライダーから支持されたことによる継続的な高値傾向であると考えられます。

今回のランキングでは、2018年7月に発売されたニューモデル、ホンダ・モンキー125および同モデルABSが初登場3・4位にランクインしました。当モデルは2017年に惜しまれながらも販売終了となったモンキー(50cc)の特徴である「シンプル」「コンパクト」「愛らしさ」などのイメージを踏襲しつつ、“アソビの達人”をコンセプトに開発された原付二種モデルです。ランクインの理由として、発売からあまり日数が経っておらず、良質な車両が多く流通することによる高値傾向であると推察されます。また、すでに各社より当モデルのカスタムパーツが発売されており、オーナーの好みに合わせてカスタムできる「オトナのホビー」としての存在感は、上位10車種の常連だった先代(50ccモデル)と似通っています。当モデルも上位10車種の常連となるのか、今後の動向にも注目です。

新年を迎え春のバイクシーズンに向かっていく中で、今後のランキングにどんな変化を及ぼすのか、引き続き『リセール・プライス』ランキングにご注目ください。

■ 排気量別ランキング上位5位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・モンキー125	85.8Pt
2	ホンダ・モンキー125 ABS	84.9Pt
3	ホンダ・スーパーカブ C125	83.9Pt
4	ホンダ・PCX	83.3Pt
5	ホンダ・クロスカブ 110	76.8Pt

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Ninja 250	80.6Pt
2	ホンダ・PCX150	77.8Pt
3	ホンダ・レブル 250	74.4Pt
4	ホンダ・レブル 250 ABS	73.6Pt
5	ホンダ・CBR250RR	72.9Pt

・中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Ninja 400	77.7Pt
2	ホンダ・CB400 SUPER FOUR ABS	72.4Pt
3	ヤマハ・MT-03	64.0Pt
4	ホンダ・CB400 SUPER BOLD'OR ABS	63.7Pt
5	ヤマハ・YZF-R3 ABS	58.8Pt

・大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Z900RS	90.3Pt
2	カワサキ・Z900RS CAFE	87.3Pt
3	カワサキ・Ninja H2 SX	83.6Pt
4	ホンダ・Gold Wing Tour	78.7Pt
5	ホンダ・CB1000R	76.4Pt

■ 『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときの価格(=プライス)を指します。

2019年1月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、年間10万台以上の取り扱い台数を誇る『バイク王』のデータを基に、バイク王 バイクライフ研究所が独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

■ 算定基準

- ・国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2019年1月現在・逆輸入車を除く)
- ・新車販売価格は2019年1月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定
- ・モデルチェンジが実施された場合は、最新モデルのみを対象とする
- ・期間内に、バイク王 バイクライフ研究所独自の規定台数に達する流通があるバイクを対象とする

【バイク王 バイクライフ研究所について】

バイク王 バイクライフ研究所は、『バイクライフの生涯パートナー』をブランドビジョンに掲げる株式会社バイク王&カンパニーが、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織です。

昨今、バイク業界は新車の販売不振や趣味嗜好性の多様化による若年層のバイク離れなど、明るいニュースに乏しい状況が続いています。

バイク王 バイクライフ研究所は、中立的な立場を意識し、専門家やユーザーの方からの意見・データを収集・集積するとともにインタラクティブな情報交換を行い、その結果をユーザーやマスメディアに向け、積極的に発信することで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

バイク王 バイクライフ研究所



バイク王 バイクライフ研究所
所長 澤篤史